

農産物の放射性物質検査結果

JA世田谷目黒管内で生産された下記農産物について、当組合独自検査の結果、以下のとおりとなりました。

採取年月日	農産物の種類	検査結果					採取地
		ヨウ素 131	セシウム 134	検出限界値	セシウム 137	検出限界値	
2017/3/7	小松菜	異常なし	異常なし	5.58	異常なし	9.22	世田谷区
2017/3/7	小松菜	異常なし	異常なし	5.58	異常なし	9.22	世田谷区
2017/3/7	ブロッコリー	異常なし	異常なし	5.54	異常なし	9.03	世田谷区
2017/3/7	ブロッコリー	異常なし	異常なし	5.40	異常なし	8.91	世田谷区
2017/3/7	白菜	異常なし	異常なし	5.50	異常なし	9.00	世田谷区
2017/3/7	小松菜	異常なし	異常なし	5.62	異常なし	9.19	世田谷区

当組合の検査機器・方法

(1) 検査機器

当JAでは、応用光研工業(株)社製の「原発災害対策特別仕様一微量放射能測定装置（型式 FNF-401）」を使用しています。

(2) 検査方法

Na I (Ti) シンチレーションスペクトロメーターによる簡易（スクリーニング分析）による検査。

検査時間：1000秒（約17分） 試料重量：1kg以上

「検出限界値」とは：検査機器が測定できる最小値のことを指します。検出限界値は、測定する個々の検体によって変わります。なお、ヨウ素131については、本検査機器での検出限界値の表示はありません。

「検出せず」とは：放射性物質が、検査機器の検出限界値未満であることを指します。